

第11章 保存活用の経過観察

第1節 方向性

史跡の保存・活用は、将来にわたって、持続可能な方法で、適切に取り組んでいくために、計画的に整備や公開・活用を行っていく必要がある。保存・管理、整備・活用、運営・体制の整備などの各分野について定期的・日常的に点検することが必要であり、施策・事業等の進捗状況の全体を把握し評価することによって、的確な改善について、施策・事業に反映させることができる。

この経過観察は、文化財保護を担当する本巢市教育委員会事務局社会教育課が中心となって、教育、観光、まちづくりなどの関係部局とも連携し、史跡船来山古墳群に関わる施策・事業等の経過観察を全体的にとりまとめ、その成果、結果を活用していく。



図 76 経過観察のイメージ

第2節 方法

経過観察を行うために、「史跡等・重要文化的景観マネジメント支援事業報告書」に掲載されている自己点検表より、チェックシートを作成し、自己点検を実施する。なお、自己点検は管理団体である本

巢市が主体となって各年度末に実施する。また、指標を設定し、事業経過を点検し計画変更がある場合は、計画の見直しまたは変更を行う。なお、チェックシート（案）は以下のとおりである。

表 10 史跡船来山古墳群保存活用・整備事業チェックシート（案）

史跡船来山古墳群保存活用・整備事業 チェックシート（案）					
日時	令和 年 月 日	記入者			
項目	実 施 例	取組み状況			
		未 済	計画中	済	備考（現状・成果等）
保存管理に関する こと	保存活用計画に基づいているか				
	本質的価値を把握しているか				
	日常管理はできているか				
	災害対策は十分か				
	現状変更取り扱い基準は順守されているか				
	劣化状況・保存環境に係る調査はしているか				
	追加指定に向けた土地公有化に取り組んでいるか				
	関係諸団体との連携は十分か				
公開活用に関する こと	保存活用計画に基づいているか				
	学校教育や生涯学習との連携が図られているか				
	ボランティア団体の育成は図られているか				
	周辺文化財や他の観光資源とのネットワークが図られているか				
	サイン施設は十分か				
	サイン等は最新の情報となっているか				
整備に関する こと	保存活用計画に基づいているか				
	復元等の表現は、学術的根拠に基づいているか				
	船来山古墳群を理解し、学習できる場となっているか				
	遺構等に影響がないように整備されているか				
	整備において目指すべき良好な景観の姿を実現できたか				
	活用を意識した整備が行われたか				
	整備後の経過観察は適切に行われているか				

運営体制に関する	運営について適切に行われているか				
	地域住民・研究者・行政の連携が適切に図られているか				
	文化庁・県との連携が図られているか				
	庁内他部署との連携は図られているか				
計画策定に関すること	保存活用計画の見直しは実施されているか				
	整備基本計画は策定されているか				
予算に関すること	保存管理・整備活用・運営体制に必要な予算確保なされているか				

卷 末 資 料

